

2 議題

(2) ロジックモデル内指標の見直しについて

(2) ロジックモデル内指標の見直しについて

【前回協議会にて示した指標見直しの考え方】

ア 見直し基準 1

指標の整理に関して国の示した考え方をもとに、ロジックモデル内の指標について見直しを行う。



【国の示した考え方】

- ・ 他県等と比較可能な数値
- ・ 定義が明確であって、数値の算出が実施可能
- ・ 評価方法が明確 等

イ 見直し基準 2

指標の中には、全国データが集計されていないものがあり、経年での実績把握に膨大な作業時間を要する。各事業の実施に支障をきたさないよう見直しを行う。

(2) ロジックモデル内指標の見直しについて

【指標見直しの考え方に対する主な意見①】

- 指標データの収集に膨大な労力を必要とするのであれば、その労力を事業に向けた方がよいのではないか。
- 系統だった関係機関の把握と分類に期待する。
- 一般医家の動向を把握するため、**C301（神経・脳血管領域の一次診療を行う医療機関数）**は必要な項目であると考える。
また、中間アウトカムの評価（【救護】患者ができるだけ早期に専門医療機関へ搬送される）に関係する、**C501（発症後速やかに救急搬送要請できた件数）**についても必要な指標であると考える。

(2) ロジックモデル内指標の見直しについて

【指標見直しの考え方に対する主な意見②】

- **B101（脳血管疾患・虚血性心疾患により救急搬送された患者数）**
B201（救急要請（覚知）から医療機関への収容までに要した平均時間）
C701（脳血管疾患・虚血性心疾患により救急搬送された圏域外への搬送率）
の三つの指標については、救急搬送体制の構築に向けて重要な指標であるため、引き続き検討を進めていただきたい。
- 国の示した考え方は、都道府県が定める指標を示したものではない。
また、ロジックモデル内の指標そのものを見直し、県独自の指標を採用を検討してはどうか。

(2) ロジックモデル内指標の見直しについて

【ロジックモデル見直しの方向性について（案）】

- 前回の協議会では、国の改定計画策定における指標の考え方に準じた形の提案を行った。
- 見直しの考え方に対する意見を踏まえ、どのような指標を採用するのかあらためて検討を行う。一方で、県改定計画策定までに検討することは時間的な制約もあることから困難である。

【今後の方向性について】

ア **県の改定循環器計画では、現行の指標及びロジックモデルを継続していく。**

イ **どのような指標をロジックモデルに位置付けていくのか、改定計画策定後も継続的に検討していく。**